

かんおんじタウン情報

＼100歳おめでとうございます／

6/18・22 長寿を祝い市長が訪問。これからもお元気でお過ごしください！



中井美智子さん(木之郷町)が5月17日に100歳を迎えました。学校薬剤師として長年地域に貢献し、瑞宝双光章を受章した経歴の持ち主。猫が好きで、新聞やテレビで見かけると、思わず笑みがこぼれるそうです。



石川セツ子さん(木之郷町)が5月18日に100歳を迎えました。甘いものが大好きで、カステラやクッキー、砂糖入りのコーヒーなどを好むセツ子さん。穏やかな性格で、施設ではみんなから慕われる存在です。



三好明子さん(柞田町)が5月11日に100歳を迎えました。99歳まで自宅の作業室で裁縫をしていた明子さん。これまでに何百着もの洋服を制作したほか、猫のぬいぐるみも1000体以上作ったそうです。

7/3 災害時、いち早く生活必需物資をお届けします

災害時の市民生活の早期安定を図るため、市とトラスコ中山株式会社(東京都)、藤村工具株式会社(大野原町)の2社は、災害時における生活必需物資の供給協力に関する協定を締結しました。佐伯市長は「いち早く物資が届くのは大変ありがたい。官民一緒になって、市民の皆さんの安心安全を確保しながら、迅速に復旧・復興できるよう取り組んでいきたい」と話していました。



7/4 観音寺スマートインターチェンジが開通

市内2つ目のインターチェンジが7月4日に開通し、ハイスタッフホールで同日に開催された記念式典には関係者約70人が出席しました。式典で佐伯市長は「開通を新たなスタートとして、持続可能で活力ある地域づくりに全力で取り組んでいく」と決意を述べました。午後3時にスマートインターチェンジが開通すると、早速多くの車両が次々と利用していました。



7/7-21 アップルトン市からようこそ!

昭和63年から青少年ホームステイ交流を行っている姉妹都市・米国アップルトン市から6人の親善訪問団が来訪。佐伯市長を表敬訪問したほか、消防署や市内企業の見学、観音寺第一高等学校を訪問し、授業に参加しました。7月25日からは観音寺市民親善訪問団3人がアップルトン市を2週間訪問しました。

アップルトン市の小学校と交流している豊田小学校へ、アップルトン市の民間団体「KAP」から絵本の寄贈がありました!



7/28 株式会社フジタから寄付金贈呈

株式会社フジタ（東京都渋谷区）から「新『道の駅』かんおんじ（仮称）整備事業」に対して企業版ふるさと納税による寄付金をいただきました。同社四国支店の川上正晴支店長は「母が観音寺市出身で、私も幼いころ、夏になると観音寺の海で泳いだ思い出がある。いろいろな縁がある観音寺市の、交流人口の拡大や地域活性化などの一翼を担うことができたらうれしい」と話していました。



7/30 関西建設株式会社から寄付金贈呈

関西建設株式会社から「新『道の駅』かんおんじ（仮称）整備事業」に対して、企業版ふるさと納税による寄付金をいただきました。同社は、交流・関係人口を拡大させ、地域経済の活性化をめざす本市の取り組みに賛同。井元高志代表取締役は「観音寺はまち全体がどんどん明るく活気が増していると思う。日ごろからお世話になっている観音寺の皆さんのために協力したい」と話していました。



7/30-8/9 鬼のおばけ屋敷! 恐怖の迷路ようこそ

ほっとはうす萩に夏の風物詩「おばけ屋敷」がオープン。ことしのテーマは「鬼」です。迷路のようなコースには、市内中学校の美術部員による鬼の面やあんどん、香川高専詫間キャンパスの学生による新作の仕掛けなどがずらり。おばけに扮したボランティアも潜んでおり、子どもたちは泣き叫んだり自分を励ましたりしながらスリル満点のコースを進んでいました。



全国大会出場おめでとうございます



第26回全日本少年少女空手道選手権大会（8月13日～15日開催）
前列：和道会西讃支部豊浜道場、和道会大野原 選手の皆さん
第34回全国中学生空手道選手権大会（8月21日～23日開催）
後列：和道会西讃、和道会大野原 選手の皆さん



第4回JJS L CUP IN 敦賀（8月8日～10日開催）
香川WEST観音寺



第20回全国中学生少林寺拳法記念大会（8月21日～23日開催）
琴弾道院拳友会 選手の皆さん



選手や激励会の様子を市ホームページまちのニュースで紹介しています! 詳しくはこちら ▶▶▶



7/20 せとうち島フェスタ2026に出展

離島と本土、島同士の交流を深めることを目的に「せとうち島フェスタ2026」が開催されました。本市からは「伊吹島を愛する会」が出展し、伊吹いりこを使ったキーホルダー作りや伊吹いりこを販売。親子で参加した人は、出来上がりを見て「きれいにできた」などと話していました。また、香川大学創造工学部の学生も協力し、来場者に伊吹いりこや伊吹島の魅力をPRしました。



7/26 みんなが集う場所に! なぎせ公園オープンします

令和6年から整備を進めてきた「なぎせ公園」で、8月1日の開園を前に記念式典を開催し、佐伯市長は「子どもから高齢者まで幅広い市民の健康づくりや憩いの場になれば」とあいさつ。多目的グラウンドで佐伯市長がキックインセレモニーを、3×3コートで大平市議会議長がフリースローセレモニーを行いました。当日はサッカーとバスケのスポーツ少年団による交流試合も行われ、公園は笑顔と歓声に包まれました。



7/28 親子でアジの三枚おろしに挑戦!

観音寺総合高等学校で親子お魚さばき方教室が開催され、観音寺市・三豊市の小学生と保護者15組32人が参加しました。講師を務めたのは、同校総合学科食物系列の3年生35人で、参加者はアジの三枚おろしに挑戦しました。子どもたちは慣れない包丁さばきに苦戦しながらも、生徒からうろこの取り方や上手にさばくコツを教わり、魚料理への理解を深めていました。



介護の悩みは、早めにご相談ください ～高齢者の権利を守りましょう～

高齢者虐待は、高齢者の権利を脅かすものの一つです。虐待は「自分にはあまり関係ない」と思うかもしれませんが、誰もが介護し、介護される可能性のある社会において、決して珍しいことではありません。一人ひとりが自分事として捉え、虐待を未然に防ぎ、地域全体で支え合うことが大切です。

どうして起こるの？

虐待をしている人が悪くて起きるわけではありません。介護疲れやストレス、認知症状への対応など、さまざまな要因が絡み合って発生します。

介護をしている家族が追い詰められ、気付かないうちに、高齢者に つらく当たったり、介護を続けることが難しくなったりすることがあります。



どうすれば防げるの？

●介護をしているご家族

介護をする人の心身の健康が一番大切です。悩みや不安を一人で抱え込まず、つらくなる前に周囲のサポートを受けましょう。

●地域の皆さん

周囲の人も、高齢者やその家族が孤立しないように、普段から声かけや見守りを意識しましょう。

どんなささいなことでも気軽に地域包括支援センターへご相談ください

●介護をしているご家族

- ・介護がうまくいかない
- ・つい強い口調になってしまふ
- ・すぐイライラしてしまう
- ・眠れない



●地域の皆さん

- ・本人に声を掛けても元気がない
- ・家族が介護に疲れて大変そう



相談に関する秘密は守られます

問い合わせ先 地域包括支援センター ☎25-7791 ☎24-8891

学校給食

食育コーナー

学校給食課 ☎57-6660

サラダで元気に！

元気サラダは、小学1年生の国語の教科書に登場する「サラダでげんき」という物語から生まれたメニューです。主人公のりっちゃんは、病気のお母さんのために「げんきになるサラダ」を作ります。りっちゃんやたくさんの動物たちの優しい気持ちが表現されたこのサラダは、給食でもとても人気です。

おいしさの秘密は、かつお節をたっぷり入れること。うま味を引き出され、味もまろやかになり食べやすくなります。

元気サラダ

材料 (4人分)

キャベツ150g、ニンジン20g、キュウリ50g、トウモロコシ(缶)30g、ハム30g、刻み昆布4g、かつお節4g

【ドレッシング】

サラダ油・酢大さじ2、塩・砂糖小さじ1/2、こしょう少々

作り方

- 1 キャベツ、ニンジン、ハムは太めの千切り、キュウリは輪切りにする。
- 2 刻み昆布をぬるま湯で戻す。
- 3 鍋にたっぷりのお湯を沸かし、ニンジンと刻み昆布をゆでる。
- 4 キャベツ、ハム、キュウリ、トウモロコシを加えサッと火を通す。
- 5 ゆでた食材をザルに取り出し、冷水で冷ます。
- 6 調味料を混ぜ合わせ、ドレッシングを作る。
- 7 食材の水気を切り、⑥とあえ、かつお節を加える。



〈献立〉観音寺市学校給食センター

- ポークカレーライス ●牛乳
- 元気サラダ ●小煮干しのごまがらめ

9月は認知症月間です

認知症基本法において、毎年9月は「認知症月間」、9月21日は「認知症の日」と定められています。

認知症とともに自分らしく暮らすために 観音寺市のめざす姿（コンセプト）



わたしのまんまでいたいんや
できる喜び、できる楽しみ、これからも
～きっと叶うよ みんながいるから～



このコンセプトは、市内にお住まいの認知症のご本人や地域の皆さんで決定しました。コンセプトの実現に向けて取り組んでいる事業を紹介します！



参加してみよう

もの忘れ相談会

毎月開催

もの忘れや認知症について、悩み相談を受け付けます。必要に応じて、電話・訪問相談も可能です。

●次回 9月17日(木) 13:00～15:00

●場所 市役所1階 相談室

※予約が必要

みんなで語ろう会

毎月開催

認知症の人が集い、自分の体験や思い、希望などを語り合い、暮らしやすい地域づくりや仲間づくりを行う場。家族同士の座談会も開催しています。

●次回 9月30日(水) 10:00～11:30

●場所 中央図書館2階 会議室

認知症家族の会

年3回開催

認知症の人を介護している家族が集まり、語り合う場。認知症サポート医による講話や、認知症の本人が参加できる座談会も開催しています。

●次回 10月8日(木) 13:30～15:00

●場所 市役所2階 会議室

オレンジカフェ

毎月開催

認知症の人やその家族、地域の人などが気軽に集い、情報交換を行う場。現在、市内3カ所で開催しています。

- ・萩のふるさと会館 毎月第1日曜
- ・栗井公民館 毎月第2土曜
- ・大野原いきいきセンター 毎月第3水曜

認知症について知ろう

認知症ケアパス

認知症の人やその家族が、いつ・どこで・どのようなサービスを受けられるかなど、認知症の状態に合わせた手引き。地域包括支援センターで配布しています。また、市ホームページからも見るができます。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り続ける応援者。この講座を受講すると、誰でもサポーターになることができます。

相談してみよう

認知症初期集中支援事業

認知症が疑われるが専門医を受診できていない、どのように対応したらよいかわからないなどの相談に対して、専門知識を持つチーム員（医師・社会福祉士・理学療法士など）が訪問し、専門的なアドバイスを行います。



各事業に参加を希望する人は問い合わせてください。 ☎地域包括支援センター ☎25-7791